



風は海から

令和6年3月1日
横浜市立西富岡小学校
学校だより
3月号

それぞれの成長

横浜市立西富岡小学校
校長 黒田 由希子

学校の花壇の花が咲き始めました。色とりどりの花を見ると、もう春なのだと実感します。早いもので、いよいよ今年度最後の月となりました。

1年生は、本校に入学予定の年長児を迎え「ようこそ！西富岡小学校へ」の会を開きました。年長児とどんな遊びをしたら、仲良くなれるか、喜んでもらえるかを考え、プログラムを決め、司会など当日の進行も自分たちで行いました。同じグループになった年長児に、「どんな遊びがしたい？」と尋ね、一緒に遊んだり、やり方を教えてあげていたりする姿からは、この1年間の成長ぶりがうかがえました。1年生の振り返りに「自分がやりたい遊びをがまんして年長さんがしたい遊びをしました。」「おりがみができた時に、「上手だね。」と言ったらにこにこになってくれました。」など、相手がどういふことをしたら喜ぶか考え、行動したことが伺えました。参観された保護者の方からも、「一人で入学することに心配していましたが、1年生に優しく接してもらい安心しました。」「小学校の様子がわかり、子どもも早く小学校に通いたいと話しています。」など感想をいただきました。



22日、6年生はお家の方を招いて「卒業を祝う会」を開きました。当日は、子どもたちの感謝の気持ちあふれる会となりました。劇や動画、群読などのクラス発表では、自分たちの思いやこれまで育んできたクラスの友達との絆、お家の方への感謝の気持ちがあふれており、6年生らしい創意もたくさんありました。6年生になると、このように自分たちで工夫して発表できるのだと、その力に改めて驚きました。情熱



大陸の学年合奏では、一人一人の音がしっかり重なってハーモニーが響いていました。また、それぞれのパートごとの活躍場面もあるなど、演奏を聴いている人も楽しくなる演出で、まさに学年一体となって盛り上がる発表となりました。きっと、これまでの期間、たくさん練習したことと思います。6年生として本当に立派になったと感動しました。

学校では、4月から3月までの1年でも、できるようになったことが増え、成長する姿が見られますが、入学から卒業までの6年間という長いスパンで見ると、学校生活の中で、こんなに大きく、たくましく成長するのだと改めて、それぞれの成長をうれしく思いました。

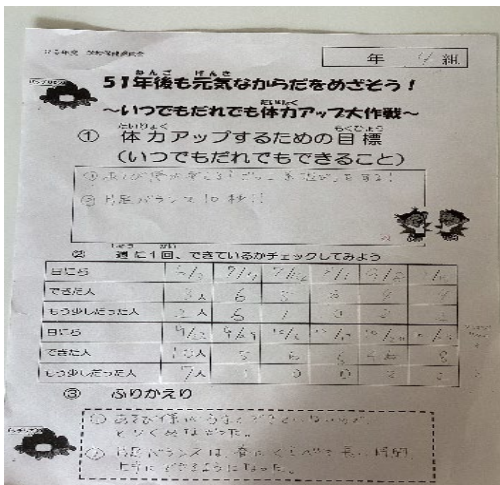
6年生は、今月19日に西富岡小学校を卒業していきます。6年生の学年目標は「大きな声であいさつ」「きづかい」「なかまと協力」「ねばりづよく」「つんで成長」「こまっている人に自分から声をかける」の頭文字をつないだ「大きな根っこ」。同学年の友達や下級生、先生たちと過ごしたこの6年間の思い出が、どっしりと根を張る「根っこ」となり、中学校という新しい場で、さらに大きく伸びていく礎となることを願っています。

募金活動 2月6日(火)～2月13日(火)

運営委員会が中心となり、2月6日から2月13日まで毎朝能登半島募金活動を行いました。全校の子どもたちが、たくさんの募金に協力をしてくれました。中には、自分のお小遣いから募金をした子どももいました。ご協力ありがとうございました。



学校保健委員会 2月7日(水)



2月7日にテレビ放送で第2回学校保健委員会を行いました。今年度のテーマは「いつでもだれでもできる!体力アップ大作戦」です。6月に決めたクラス目標のふりかえりを発表しました。また、高学年はおすすめの外遊びを提案しました。保健委員からは休み時間の外遊び調査の結果発表もありました。寒い時期ですが、晴れた日は外に出て元気に過ごせるとよいと思います。

学習発表会 2月8日(木)

今年度は音楽の授業を実態に分け、2つのグループに分けて指導を行いました。リズム打ちの学習に取り組んだので、学習発表会でもリズム打ちを中心の発表を行いました。台所にある道具を楽器に見立ててリズムを意識して2曲演奏しました。どちらの曲も児童には身近で親しみのある曲だったので、楽しみながら学習できました。本番は少し緊張したようですが、学習の成果を十分に発揮し、素晴らしい演奏ができました。



クラブ発表会 2月15日(木)

今年度のクラブの活動の成果を動画にまとめたり、練習してきたこと際に行ったりして発表しました。クラブの部長・副部長を中心にそれぞれのクラブのよいところを伝えました。発表を通して自分たちの成果を実感したり、友達の活動を知り認め合ったりすることができました。

3年生は来年度からクラブ活動が始まります。どんなクラブがあるのかを知り、来年度入るクラブを考えたり、楽しみな気持ちをもったりしている様子でした。



お話会 2月19日(月)

22年間に渡り「たんぽぽふー」のみなさんにお話をさせていただき、子どもたちのためにご尽力いただきありがとうございました。お話会の内容は世界や日本の昔話、童話などがあり、ペープサートや読み聞かせ、ストーリーテリングの形式で行われました。楽しくあたたかい雰囲気、聞いていると自然とお話の世界に引き込まれていきました。お話会を通して子どもたちは読書に親しみ、読書を楽しむことができました。



卒業を祝う会(6年) 2月22日(木)

6年生の保護者の方々や教職員を体育館に招待して、卒業を祝う会を行いました。「正解」の合唱と「情熱大陸」の合奏は、学年全体で練習を重ねてきました。休み時間には、子どもたちが自主的に練習を行い完成度を高めていく姿も見られ、演奏することへの楽しさが伝わってきました。また、クラスごとの出し物では、1組が「英語劇」、2組が「劇と呼びかけ」、3組が「群読」、とクラスのカラーが出た感動的な発表でした。実行委員を中心に、またクラスごとに一生懸命準備をしてきた会は大成功に終わりました。最後は、6年生担任と音楽専科によるサプライズ演奏で大いに盛り上がりました。アンコールありがとう！そして、卒業式も感動的な式にしましょうね。



児童支援専任だより

小澤 卓也

今月で令和5年度が終わります。今年度の専任だよりも最後となりました。今年度も1年間にわたって、子どもたち一人ひとりが安全に安心して、自分らしく楽しい学校生活を送れるように、全教職員が一丸となって支援・指導に取り組みました。

日ごろから子どもたちに挨拶をしながら声をかけたり、表情を見たりして様子を観察しています。いじめの未然防止に関しては、記名式と無記名式のアンケートを併用して子どもたち一人ひとりの声に耳を傾けるよう努めてきました。アンケートの結果を受けて、子どもたちに教育相談も行いました。

また、子どもたちが年齢相応の社会的スキルを身につけることと、学級や集団にあたたかな風土や文化を醸成することを目標として「子どもの社会的スキル横浜プログラム(Y-P)」にも取り組みました。仲間意識を育て、コミュニケーションの重要性に気づいたり、いろいろな友だちとかかわりをもちルールの中で遊ぶ楽しさを体験したりしました。

他にも、横浜子ども会議では、代表委員会を中心に全クラスで「いじめをなくすために、一人ひとりができること」を話し合い、学校代表児童が富岡中学校ブロックで発表しました。話し合いの中で出た、「正義の集団をつくる」、「傍観者を一人でも減らす」という言葉が強く印象に残りました。

先日の子どもたちへの「生活・学習 振り返りシート」では、約90%の子どもたちが「友達・親・先生などに、困ったことや心配なことがあったときに、相談している。」と回答しています。

子どもたちが落ち着いて自分の目標達成に向けて頑張ってくれたのも保護者のみなさまの日ごろからのお子さんへの支援や助言の賜物です。

保護者のみなさまのご理解とご協力に感謝いたします。ありがとうございました。